



## ～ 参議院議員・自由民主党税制調査会長 宮澤 洋一 氏 ご講演 ～

### 「昨今の政治・経済状況について」

令和6年2月5日（月）宮澤洋一氏の講演会が開催されました。

令和6年度の税制改革をめぐっては、防衛費増額のための財源問題、さらには定額減税など多くの課題があった。今回は、自由民主党税制調査会長としてその取りまとめに当たられた宮澤洋一先生にご講演をいただいた。昨年末以来、政治資金問題が大きな政治問題となる中でのご講演となった。



まず、政治資金問題に触れると、これまで派閥に十分目が届いていなかったということ。宏池会は解散を決めたが、良い判断だった。今後、政策に関するグループがいろいろとできていくだろう。その際、遠心力が働くところもあるだろうが、宏池会は誇りもあり求心力がある。

次に、来年度予算であるが、能登半島地震への対応のため5000億円の予備費が計上されている。この予算の年度内成立を野党も阻止することはできないだろう。予算成立後、4月には3つの補欠選挙がある。そして衆議院解散がいつになるかについては幾つかの可能性がある。

私の税調での活動を振り返ると、2012年に第2次安倍内閣で税調インナーとなり、2015年には野田毅先生から会長を引き継いだ。これまでの税制改正で記憶に残るのは、例えば、2009年度の所得税法の改正。同法の附則104条として、基礎年金の国庫負担2分の1への引上げのために消費税を段階的に上げることが盛り込まれた。この附則により、民主党政権時代に「社会保障と税の一体改革」に関する3党合意が成立した。2016年度の税制改正では、消費税の軽減税率導入が課題となったが、議論の過程で、一般的な家庭の食料品支出額の2%相当を還付するというよ

うな案がリークされ、公明党が大反発した。そこで一転、軽減税率の導入が決定された。軽減税率導入後も心配された混乱はほとんど起こらず、さすがは日本国民という印象であった。

今回、23年度税制改正では、防衛力強化のための増税が重要な課題であり、そのための法人税引上げの開始時期をきちんと決めたいと考えていた。しかし、政治情勢もあって、それはできなかった。他方、岸田総理が提唱した、成長の果実を還元するための所得減税については、党税調では皆反対。しかし、所得制限をかけることなどの条件を付け、何とかまとめることができた。

今後の税制改革の課題としては、法人税の引上げのほか、所得税に関しては給与所得控除など様々な控除の見直し、金融所得課税については税率を少なくともドイツ並み（税率26%）にすること、消費税については社会保障と一体で、引上げの議論をできるだけ早くはじめることなどがあると考えている。

政治改革を進め、その上で、税制改革をはじめとする重要な改革を推進していくことが求められている。

ご講演の冒頭で触れられた政治資金問題を含め、興味深いお話しが満載であった。また、その後の質疑を含め、終始、穏やかに分かり易くお話しいただいたのが印象的であった。（M. K.）



### ～ 目次 ～

参議院議員・自由民主党税制調査会長

|                |    |
|----------------|----|
| 宮澤 洋一 氏 ご講演    | 1  |
| 会員作品展開催される     | 2  |
| 日本倶楽部会員作品展出品作品 | 2  |
| 講演委員会便り        | 5  |
| 図書室だより         | 11 |
| 定例午餐会報告        | 13 |
| 女性会員親睦の茶話会開催と  |    |
| 日本倶楽部女性会発足のご報告 | 15 |

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 国立印刷局東京工場の訪問             | 15 |
| (伝統・文化・芸術鑑賞同好会)          |    |
| バス見学会の報告                 | 16 |
| (サクラの名所 三嶋大社・麒麟富士御殿場蒸溜所) |    |
| 最近の会員活動状況                | 17 |
| 会員活動一覧                   | 19 |
| 会員の広場                    | 20 |
| 会館建替推進委員会活動状況            | 20 |
| フェローシップ委員会活動状況           | 20 |
| 事務局の体制について・編集後記・他        | 20 |